

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・職員へ定期的な理念、基本方針の周知を行っている。 ・企画室を中心に中期事業計画を立案し、職員向けに方針発表会を開催している。また、推進のためのプロジェクトを立ち上げ、実行に繋げている。										8	9							17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・社会福祉法人恩賜財団済生会法令遵守規程が定められており、院内ポータルサイト内のトップページから閲覧できるように設置されている。 ・1回/年にコンプライアンス研修を実施し、従業員への啓発を行っており、何か問題が発生した際には、行動規範委員会にて協議、是正する仕組みが設定されている。																16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・物品の購入や各種契約等の購買業務に関しては、購買部が一元管理をする運用とし、決裁権限規程にて職員に周知を行っている。 ・月に一回の診療機材購入検討委員会や取引形式選定委員会にて、経理規程・契約手続要領に準じた入札および随意契約に関する審議を行っている。												10					16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・医療の安全と質に関して透明性を担保するため、医療の質協議会を設置し、外部委員の意見を取り入れる体制を整備している。 ・施設保全室、環境整備室で温暖化対策や効率的な資源利用など環境に関する取り組みを行っている。																	16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標、著作権等の知的財産に対しての侵害排除については組織として意識を高く設定し、取り組んでいる。 ・特に著作権などについては契約時にその取り扱いについて確認するとともに、発行物については広報室で内容の確認を行っている。 ・保持する知的財産について、更新時に改めて精査した上で権利の維持、継続を行っている。								8.2 8.3	9								16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報適切に管理している。	●		・個人情報保護委員会を設置し、委員会を中心に以下の取り組みを行っている。 ・個人情報に関する監査を定期的に実施している。 ・個人情報の講座またはeラーニングを実施している。 ・個人情報保護委員会を月1回開催し、問題があれば都度正処置を行っている。																	16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		【患者向け】 ・患者満足アンケートの実施や、ご意見箱の設置により、ご意見・要望などを収集している。 ・患者サービス検討委員会や患者相談対応会議を開催し、改善活動を実施している。 【連携医療機関向け】 ・連携医療機関に対して定期的な訪問活動を行い、要望などを聞いている。																		16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・職員が全ての法令等を遵守し、社会規範を尊重するとともに、本会の業務活動が高い倫理性を持って行われることを確保することを目的とする「法令遵守規程」を各事業者に周知している。					5					8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・救命救急センターの要件としての事業継続を推進するため、BCPの作成及び定期的な改定を行っている。 ・災害発生期における対応として「災害必携マニュアル」を設定し、有事の際に備えている。										9		11		13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・基本方針のひもとびに人材育成を掲げており、当院の理念と基本方針を組織として遂行することができるように、各種人材育成の取り組みを行っている。									8	9								17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2				5				8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・「済生会熊本病院行動規範」に基づき、人種・信条・宗教・性別・国籍・障害・年齢等による不当な差別をしないことを職員一人一人が誓約している。 ・ハラスメントの禁止について「就業規則」「ハラスメントの防止に関する規程」に定めている。 ・院内のハラスメント防止委員会による相談窓口だけでなく、顧問の社会保険労務士による外部相談窓口も設置している。					4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		【保健の確保】 ・労働安全衛生法に基づく衛生委員会を設置し、職員の安全と健康を確保し、快適な職場環境の整備を図っている。 ・職員が心身ともに健康で、明るく、安心して働ける職場環境を目指し、産業医、臨床心理士、保健師、事務員が常駐する「職員健康管理室」を設置している。職員が自身の健康に関して気軽に相談できる体制を整備している。 【各取り組み】 ・入職者オリエンテーション、階層別研修等で職員健康管理室からストレス・マネジメントに関する研修を実施している。 ・4月入職の研修医、看護師を対象に臨床心理士による個別面談を実施している。	3					8.8													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・厚生労働省の「同一労働同一賃金ガイドライン」に基づいた対応を進めつつ、有期雇用・短時間労働者の 不合理な待遇差解消に向けた課題について継続して検討を行っている。 ・「済生会熊本病院 働き方モデル」を作成し、職員の公正な待遇を図っている。					5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・職員がより働きやすい環境を整備することを目的に「勤務管理に関するルールについて(全職員向け)」「労働時間管理者の留意事項について(所属長向け)」を作成し、適切な労務管理に務めている。 ・長時間労働による健康被害の未然防止のために、労働法令よりも厳しい基準で病院幹部による所属長および本人への個別ヒアリング調査を実施している。 ・有給休暇取得状況をモニタリングし、有給休暇の計画的な取得促進を図っている。 ・職場復帰を支援する「仕事と治療の両立支援制度」を設けており、病気やケガの治療を行ないながら勤務を継続できる環境を整備している。	3			5.5		8.5 8.8	10.3												
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・職種混合の階層別研修を年間を通じ、実施している。 ・自己啓発を支援するため、通信教育や英会話講座の一部費用を負担している。 ・時間や場所に制限なく、文献検索やオンライン図書を活用できる仕組みを構築している。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・産業医、臨床心理士、保健師、事務員が常駐する「職員健康管理室」を設置している。 ・健康宣言を制定し、健康経営度調査の受審、ストレスチェック、重要講座、オフィスヨガなど各種取り組みを実施している。			3					8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・障がい者へ雇用機会を提供するため、院内物流、環境整備、レストラン等の複数部署で直接雇用を行っている。勤務日数や勤務時間等は本人の希望を踏まえ、柔軟に対応している。 ・障がい者の就労支援を行っている済生会熊本福祉センターへ業務委託(院内内の清掃、ユニフォームのクリーニング、お弁当やパンの販売)を行い、福祉センターを利用する障がい者へ雇用機会を提供している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・感染対策については病院の方針を策定し、職員に周知している。各取り組みは以下の通り。 ーWeb会議の導入。 ー遅れなく訪問者の検温をするために、ウォークスルー方式の検温システムを正面玄関に設置。 ーテレワークの仕組みを構築し、一部の職員で実施。			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・DXプロジェクトにてリモートワークの環境構築やオンライン地域医療連携システムの構築、音声入力・支援の共同開発など、デジタル化・オンライン化を進めている。 ・Web問診システムの導入など、患者の利便性向上に向けた対応を行っている。									8	9.1		11	12						
	21	【プライド企業】 ・プライド企業に認定されている。	●					3	4					8	9			12						

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト		事業者名:		社会福祉恩賜財団済生会熊本病院		基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。																	(様式第2号)	
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・JCI(国際的な医療機能評価)を受審し、第3者機関からの評価を受けている。 ・廃棄物分別表を作成し、適切に管理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電気、ガス、水道の使用量を担当部署で把握し、院内スタッフに共有し、削減に努めている。 ・病院内の照明のLED化に取り組んでいる。 ・公用車をハイブリッド車に順次移行している。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・済生会本部で事業活動温暖化対策報告書を作成しているため、当院の排出量と削減量を報告し、取り組みを行っている。 ・照明LED化の実施とエアコンの更新を行っている。 ・壁面緑化や駐車場への植樹を行い温暖化防止に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・職員食堂や売店などで利用できるように職員にエコバックを配布、もしくはエコバックの利用推進を行っている。 ・院内でペットボトルキャップを回収し、リサイクルしている。						6.6								14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・廃棄物分別表に基づいて分別し(古紙、廃布、段ボール、廃油)再利用に取り組んでいる。 ・事務用備品を使用しなくなった場合に、別部署で再使用をすすめている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15						
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・すべての水道に節水コマを取り付け、節水に取り組んでいる。 ・汚染物を流さない取り組みをしている。 ・駐車場の舗装を透水性にしている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17				
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・リサイクル製品の購入を推進している。										9.4		12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・規格外の野菜を使用している。 ・小盛メニューの導入をしている。 ・食品ロスの対応として余った食材を別メニューに活用している。 ・売店で賞味期限が近い商品の割引を行っている。	1	2				6.4							12.3		14	15		17			
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・壁面緑化や駐車場への植樹を行い、温暖化防止に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15			17			
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・空調機器や設備機器の更新に伴い、省エネ設計の機器を導入し、エネルギー使用率の改善を行っている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3								
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・職員食堂や売店などで利用できるように職員にエコバックを配布、もしくはエコバックの利用推進を行っている。 ・院内でペットボトルキャップを回収し、リサイクルしている。													12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・当院への公共交通機関のアクセスが十分でないため、駅一病院間のシャトルバスを運行し、JRの利用促進を図っている。 ・段階的に公用車をハイブリッド車へ移行している。										9.4		11.2		13.1 13.3							
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・TQM部を設置し、専任のスタッフが品質管理、安全管理、感染管理の業務を行っている。また、医療安全管理対策委員会を設置している。 ・医療の安全と質に関して透明性を担保するため、医療の質協議会を設置し、外部委員の意見を取り入れる体制を整備している。			3.9							9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・外来患者の転倒・転落のリスクを評価し、リスクが高い方にはハートフルパスの着用をお願いすることで、安全に受診して頂けるようにしている。 ・障害者専用駐車場を設けている。 ・みんなのトイレを設置している。										9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・職員食堂、レストランの食材に関しては県産品から優先的に使用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・食事を通して地域をつなぐための場を提供する社会活動として、フードバンク熊本、JA熊本からの提供食材を使用し、地域食堂の取り組みを行っている。 ・健康教室や食育などを地域に向けて展開することで持続可能な地域づくりに取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		【社会福祉法人としての取組み】 ・生活困窮者、刑余者を支援する団体へ生活物資の提供を行っている。 ・当院に入院、外来で関わっている身寄りがいない方や生活困窮者への生活物資の提供を行っている。 【災害支援】 ・災害時にDMATを派遣するなどの対応を行っている。 【地域貢献活動】 ・食育や健康教室の開催など地域に向くアウトリーチ活動に取り組んでいる。 ・地域の防犯パトロール、交通安全マナーパトロールなどを実施している。 ・交通安全モデル事業所として地域の交通安全の模範的活動を進めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災・減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・組織内に「防火・防災管理委員会」を設置し、随時災害に対する必要な情報開示、定期的な訓練等の企画立案を行っている。				4								11.5		13.1			16	
	45	【防災・減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・災害医療派遣チームDMATを持っており、スタッフの育成、DMAT活動への協力を行っている。 ・大規模自然災害を想定した多数傷病者受け入れ訓練(1回/年)の実施、また、要救助者を想定した訓練を院内各部署で実施している。 ・消防OBを採用し、防災・減災などの取り組みを進めている。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1		16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・入職時オリエンテーションで、済生会が取り組むSDGsについて説明を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・全国から医学生、看護学生等の実習・研修受入れを行っている。 ・学生のみならず、専門医取得やさらなる資格取得のための研修、見学受入を行っている。他医療機関からの見学も多数。 ・将来的な職業選択として、地域の中学生や高校生に向けたイベントを開催している。				4						8.6		10.2					17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・各採用の場面において、全国転勤がなく、熊本に貢献出来る職場であることをPRしている。 ・看護師の新卒採用において、熊本県内の看護師養成校からの学校推薦による採用枠を設けている。 ・薬剤師の新卒採用において、「ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート制度」を活用し、優秀な人材の確保と定着を図っている。				4.4						8.5 8.6							17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17